

南仏治安情報 (2012年8月)

■プロヴァンス地方

1. 治安対策優先地域の指定

Manuel Valls内務大臣は8月4日、フランス国内における15の治安対策優先地域を発表しました。フランス南部ではMarseille市(3, 13, 14, 15, 16区)、Gardanne、Bouc-Bel-Air、Gard県(Vauvert, St-Gilles)、Hérault県(Lunel, Mauguio)が指定されました。これらの地域では本年9月より順次警察による巡回が開始され、地元省庁やアソシエーション等と連携し犯罪や非行が発生しにくい地域社会作りがすすめられます。

2. マルセイユ市内における発砲事件の多発

マルセイユ市内において、7月後半から1ヶ月間で9件もの発砲事件が発生しました。8月25日には男性が路上で、スクーターに乗った男から発砲を受け死亡しました。警察は9区内のLa Soude地区とLa Cayotte地区の素行不良者グループ間の薬物売買を巡るトラブルが原因の事件とみて捜査しています。なお、全発砲事件の内5件はグループ間の抗争によるものですが、その他の事件として、15区ではセネガル人調理師が発砲され脚を負傷し、1区Noailleでは地元住民と駐車場所を巡る口論の末セネガル領事館の運転手が威嚇射撃を受けました。

3. 偽警官による取り締まりを装った強奪事件の発生

フランス南部スペイン国境からイタリア国境にかけて夜間、高速道路のサービスエリアで休憩中の旅行者が相次いで強盗団の被害に遭っています。強盗団は警察官に扮しており「Police!」と叫びながら取り締まりを装い強力な懐中電灯で旅行者を照らし動揺しているところを、金品等を奪って逃走しています。

4. 「セザンヌの道」での車上荒らしの多発

ハイキング等を目的に多くの人を訪れるサント・ヴィクトワール山ですが、「セザンヌの道」と呼ばれる県道CD17沿いの駐車場では車上荒らしの被害が多数報告されています。8月中旬、観光案内所La maison St-Victoireを訪れたカップルが、車内に荷物を残して降りたほんの10分の隙に、窓ガラスを割られ貴重品の入った鞆を盗まれる被害に遭いました。短時間でも貴重品はもとより、車内に目に付く荷物を残さないよう呼びかけられています。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. ニース市を中心にスリの被害が増加

コートダジュール地方では今年1月よりスリによる被害が1700件報告されており、前年度同時期の1200件に比べ40%の増加となっています。中でも、観光客が多く訪れるニース市では昨年の倍の400件が報告されています。最近では、13歳以下の子供による犯行も目立っており、特に密着されやすく犯人が逃げ易いトラムの車内での被害が目立っています。

2. 高級腕時計を狙ったひったくり事件の概要

カンヌなどのリゾート地で相次いで発生している高級腕時計を対象としたひったくり事件について、警察は8月10日に逮捕されたイタリア・ナポリ出身の男2人の供述より、イタリアの犯罪組織Camorraによる組織的犯行の可能性があると捜査しています。手口は、犯人が二輪車または自動車を走行中、対象の車のサイドミラーに故意に接触し、運転手がミラーの位置を直そうと手を出したところをひったくるといったものです。

3. レジオネラ症患者の確認

アルプ・マリタイム県 St-Laurent-du-Varでは8月に入り新たに2名のレジオネラ菌への感染が確認されました。これにより今年5月からの累計感染者数が6名となり、感染の拡大を予防するため、人の出入りの多い複合施設では空調設備の冷却水の交換・消毒が義務づけられました。レジオネラ菌は冷却水や水循環装置内で増殖しやすく、高齢者等抵抗力の少ない人にとってレジオネラ肺炎およびポンティアック熱の原因になると言われています。

4. 犯罪組織幹部銃殺事件の発生

コルシカ島Ponte-Leccia(Haute-Corse)で8月7日、犯罪組織「Brise de Mer」の最後の幹部の1人であったMaurice Costaが、精肉店にて覆面をし猟銃を持った2人組から射殺されました。この事件により島内の最大勢力であった同組織の衰退は免れないものとなり、犯罪組織の勢力図は不安定なものになると予想されます。

■ミディ・ピレネー地方

1. 若者グループ間の抗争事件の発生

8月10日夜、トゥールーズ市Bagatelle地区において隣接するFaourette地区との若者グループ間の抗争により男性が腹部を撃たれる事件が発生しました。その後数日間銃声が鳴り響く等、緊迫した状況が続いた為警察官150人が警戒にあたりましたが、犯罪が頻発する同地区において夜間に警察官が常駐する警察署が不在している等、犯罪対策の根本的な問題が指摘されています。

2. 高齢者を狙った貴金属盗の発生

トゥールーズ市では貴金属を狙った窃盗事件が頻発していますが、高齢者も容赦なく狙われています。72歳の女性が自宅の壁をよじ登り侵入してきた男にカッターで脅され、指輪、ネックレス等を奪われました。また、92歳の女性は自宅に入ろうとしたところを襲われ、結婚指輪、ネックレスを奪われるなど、犯行が凶悪化しています。

3. 刃物を使用した事件の発生

トゥールーズ市内では刃物を使用した事件が度々報告されていますが、7月下旬には知人と勘違いして声をかけた学生が相手の男に脇腹を数回刺される事件が発生しました。また、8月中旬には夜間Pont du Garonnette付近を歩いていた男性が4人の男に囲まれ金品を奪われ、刃物で脅され橋から飛び降りることを強要された結果、脊椎を負傷する重傷を負いました。

4. グラインダーを使用した侵入窃盗事件の発生

ミディ・ピレネー地方Pamiers所在のスーパー「Intermarche」で8月7日、何者かがグラインダーを使用しシャッターを切断し、同店内の貴金属コーナーより金製の指輪、ネックレス等90000ユーロ相当の貴金属を奪い去りました。同地方では直近の6日間で計4件同様の手口による侵入窃盗が発生しており、いずれも高価で転売できる金製品、携帯電話等に被害が集中しています。警察は目撃された自動車、手口から同一グループの犯行とみて捜査しています。